

21世紀の広島への提言

原爆関連施設の統合を

広島県医師会長 真田幸三



最近、医療行政・医療政策の上で国や地方でいろいろな変革が起こっている。本年四月から公的介護保険が導入されたのもその一つであり、国立療養所や国立病院の統廃合が全国的に推進されているのもその一つである。

傾向に入り、二〇一〇年代には後期高齢者(七十五歳以上)の比率が一段と加速し、世界一の超高齢社会を迎える。医療政策の広範な改革は、年金・医療・福祉を含めた我が国の社会保障制度が確実に深刻な時代を迎えることに備えるの対応であることは疑いもないことである。

藤田雄山知事は、九月十一日の記者会見や十四日開会の県議会の施政演説で、平成七年以来検討を重ねてきた「広島県がんセンター整備構想を凍結する」と表明された。「財政事情と整備目標の確定が出来かねる」との理由からである。確かに財政事情の悪い時、中途半端な「がんセンター」を造っても、地元の大学病院や総合病院と競合するような施設では県費の無駄遣いになっては大変だという知事の決断も理解できないこともない。さらに「県民のがん治療充実への期待が大きいので、引き続き推進方策を検討していく」との知事の判断・意欲に今後期待したい。



ISSN 0285-130X
旬刊
5.15.25日発行
1部200円

広島県医師会速報の代金会
員負担1回200円は県医師
会費に含まれています。

第1737号

主な目次

21世紀の広島への提言……(真田幸三)	1頁
第十五回常任理事會記事	3頁
「死体検案」研修會……(沖野宏敬)	5頁
祝 会員の栄誉	7頁
お知らせ事項	9頁
学校保健関係の財源措置	17頁
社保の窓	19頁
医師国保の菜	27頁
セクシユアルハラメントと職場	28頁

広島県医師協同組合情報	29頁
地区医師会だより(安佐)	30頁
論壇「医師法第一条に想う」……(右近文三)	32頁
IPPNWコーナー (アブラハム・ペハー)	34頁
第十一回中国四国医師オープン卓球大会	36頁
禁煙コーナー……(岩森 茂)	38頁
第十二回広島県医家音楽祭プロケラム	40頁

「がんセンター問題」は今後に譲るとして、私は平成四年から十年近く、県・広島市医師会の中核に在籍させていただいたので、地域の医療問題、特に広島市の医療施設の今後については特別な思いを抱いていることがある。広島大学や広島空港の転出に伴い、政令都市広島は空洞化現象が始まり、活気を失いつつある状況にあると思う。

一方で広島市は五十五年前、世界で初めての原爆投下で全滅した被爆都市であるにもかかわらず、市民・県民の努力で都市の復興・景観は素晴らしいものがある。広島市内には原爆後障害に関係した調査研究所や病院、健康管理施設等々多くの施設があり、終戦後の被爆者の治療や健康調査などに多大の役割を成し遂げて今日に至っている。

それらの施設とは、放射線影響研究所(当初はABC)、広島赤十字・原爆病院、広島大学原爆放射能医学研究所(原医研)、広島原爆障害対策協議会・健康管理増進センター(原対協)などをあげることができる。さらに県や市の原爆被爆者対策課やHICARE(放射線被曝者医療国際協力推進協議会)、県医師会内にはIPPNW(核戦争防止国際医師会議)日本支部、在米被爆者健診事業班、広島県腫瘍登録室などもある。それぞれ今日まで充分機能してきたが、そうした施設や団体、事業がこれから先、大変な時代を迎えることを私は心配している。

すでに被爆者は年々減少しており、財政的にも業務内容的にも今後の運営は不確実性・不安定要素が多い。その上、多くの施設が老朽化してきたにもかかわらず、米国・国・県・市からの財政援助は削減が続く一方である。

そこで私は、二十一世紀初期プロジェクトとして雄大な構想を提案したい。以上の施設や事業は、被爆都市広島には将来に向けて必要かつ存続させなければならないものばかりである。それら放射線に関連ある施設を一カ所に統合し、広島平和祈念センター(仮称)を建設するのである。核廃絶・世界の恒久平和を発信しつづけるセンターとして位置づけ、次の世代に託すことが国・県・市としての責務と思う。

そのためには県民・市民の支援はもちろんのこと、厚生省・文部省・科学技術庁など国を挙げて統合に理解を示し、財政支援も先行投資で進めるべきである。その実現のために最も必要なことは、県・市行政及び議会が、力強い握手のもとに一体となり、さらに県選出国会議員全員(現在最強メンバー)が、地元広島への恩返しとして応援していただくことで初めて可能になると考える。そして、広島にナショナルセンターが出来上がるのである。

平成十二年九月三十日付け「中国新聞」の「中国論壇」より転載致しました。

保険医療機関・保険薬局の皆様へ

平素、支払基金の業務運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、診療(調剤)報酬請求書の平成12年10月における受付対応につきましては、10月9日(体育の日)を開所し、受付及び受付相談席を設けておりますのでお知らせいたします。

なお、10月7日(土曜日)、8日(日曜日)は閉所となっておりますので併せてお知らせいたします。

広島県社会保険診療報酬支払基金